2026年11月8日

日産自動車株式会社
日産モータースポーツ＆カスタマイズ株式会社

SUPER GT 第 3 戦/第 8 戦、#12 Z が第 3 戦を制し、最終戦を 3 位で締めくくる
#56 GT-R が GT300 クラスチャンピオンを獲得

― SUPER GT 2026 第 3 戦/第 8 戦レースレポート ―

11月8日　モビリティリゾートもてぎ（栃木県）





2026 年 SUPER GT シリーズ第 3 戦および第 8 戦が栃木県のモビリティリゾートもてぎで開催されました。延期となった第 3 戦マレーシア大会の代替戦が 11 月 7 日に、第 8 戦が 11 月 8 日に、それぞれ午前に予選、午後に決勝というスケジュールで行われました。第 3 戦ではスタートから積極的なレースを展開した#12 TRS IMPUL with SDG Z が 2 位以下に 20 秒以上の大差をつけて勝利し、Nissan Z NISMO GT500 の今季初優勝を飾りました。第 8 戦では#12 Z が 3 位に入り、シリーズランキング 4 位で 2026 年シーズンを締めくくりました。また、GT300 クラスでは、#56 リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R が第 3 戦で 14 位に入りポイントランキング首位を維持、続く第 8 戦で 4 位に入り、2022 年以来、4 年ぶりの GT300 クラスチャンピオンを獲得しました。

【GT500】
11 月 7 日（土）
Round 3 MOTEGI GT 250km RACE

Nissan Z NISMO GT500 が今シーズン初優勝
代替戦の第 3 戦で#12 TRS IMPUL with SDG Z が大差で勝利を飾る

2026 年 SUPER GT シリーズ第 3 戦が栃木県のモビリティリゾートもてぎで開催されました。スタートから積極的なレースを展開した#12 TRS IMPUL with SDG Z（平峰 一貴 / ベルトラン・バゲット）が、2 位以下に 20 秒以上の差をつけて勝利し、Nissan Z NISMO GT500 の今季初優勝を飾りました。#23 MOTUL Niterra Z（千代 勝正 / 高星 明誠）が 7 位、#24 リアライズコーポレーション Z（名取 鉄平 / 三宅 淳詞）が 9 位となり、日産勢は全車が入賞を果たしています。

250km で争われるこのレースでは、最終戦前のサクセスウェイト半減のルールが適用され、#12 Z に 26kg、#23 Z に 36kg、#24 Z に 15kg のサクセスウェイトが課されています。日産/NISMO 陣営は今季初優勝を目指して、11 月 7 日（土）の予選、決勝に臨みました。

#24 Z が 5 位、#12 Z が 6 位に

予選
午前 9 時 30 分から行われた予選は従来のノックアウト方式ではなく、15 分間のタイムアタック 1 回のみで予選順位

を競う方式で実施されました。天候は晴れ、気温 15 度、路面温度 20 度のコンディションで開始。各車タイヤのウォームアップを入念に行い、#24 Z の三宅が 5 周目に 1 分 37 秒 097 で上位のタイムをマークしました。#12 Z のバゲットは、コース上の破片を避けざるを得ず、若干のタイムロスとなったものの、6 周目に 1 分 37 秒 242 で#24 Z に続きます。#23 Z の千代は、走路外走行でアタックラップのタイムが採用されず、6 周目に記録した 1 分 38 秒 278 がベストラップとなっています。最終的に Nissan Z NISMO GT500 勢は#24 Z が 5 位、#12 Z が 6 位、#23 Z が 12 位で予選を終えました。

序盤から積極的に攻めた#12 Z が今季初優勝
Z 勢は 3 台全車が入賞を果たす

決勝
午後 2 時、気温 15 度、路面温度 22 度のコンディションで、時折冷たい風が吹くなかフォーメーションラップが始まり、250km、53 周の決勝レースがスタートしました。#12 Z のバゲットは 1 周目に#24 Z 三宅をパスして 5 番手に浮上します。1 周目に GT300 クラスでアクシデントが発生し、コース上に複数のマシンがストップしセーフティカー（SC）が導入されました。オイル処理などで時間を要し、6 周にわたる SC 走行ののち、8 周目からレースが再開されました。9 周目、#23 Z の千代は 90 度コーナーでオーバーテイクを決めて 9 番手に上がり、激しい接近戦となりましたが、11 周目に再び先行を許し 10 番手となりました。#24 Z の三宅は 10 周目にファステストラップをマークする力走を見せて前を追います。ペースを上げ追撃態勢に入った#12 Z は 16 周目、17 周目と立て続けにオーバーテイクを重ね、3 番手にポジションを上げています。

レースの 3 分の 1 となる 18 周を終えて、GT500 クラスのピットインが始まりました。19 周目に#23 Z、20 周目に#24 Z、21 周目に#12 Z がピットイン。それぞれ給油とタイヤ交換、そしてドライバー交代を行いました。35 周を終え、規定ギリギリまでピットインを延ばしたトップのマシンがピットに入り、GT500 クラス全車がピット作業を終えた時点で、#12 Z の平峰が 3 番手、#23 Z の高星が 7 番手、#24 Z の名取が 10 番手を走行。ペースに勝る#12 Z は、36 周目に 2 番手を 90 度コーナーでパス、さらに 39 周目の 1 コーナーで首位をオーバーテイクし、トップに立ちました。

レース終盤、ハイペースで走る#12 Z は 2 番手以下を引き離し続け、トップチェッカーを受けました。Nissan Z NISMO GT500 勢待望の今シーズン初優勝です。#23 Z は接戦を繰り広げるものの 50 周目に 8 番手に。#24 Z も、激しいポジション争いのなか、入賞圏内の 10 番手を死守しています。最終的に上位の失格で順位が繰り上がり、#23 Z は 7 位、#24 Z は 9 位でレースを終えました。なお、今大会の結果は暫定となっています。

Nissan Z NISMO GT500 勢は今季初の勝利を飾り、全車が入賞を果たし第 3 戦を終えています。ポジティブなマシンの状態を得た日産/NISMO 陣営は、翌日に予選、決勝が行われる最終戦に臨みます。

平峰 一貴 選手（#12 TRS IMPUL with SDG Z）
「最高の気分です。このシーズン、苦しい戦いが続いていましたが、とにかくキレキレの“TEAM IMPUL らしい走り”を皆さんに見せたいと思っていました。最初のスティントでバゲット選手がいい走りをしていて、僕にとってとてもそれがいい刺激になりました。クルマのバランスも良く、ウォームアップでアジャストしたことが決勝にも活かすことができていました。前に何台かいたので、絶対食ってやるとずっと思っていましたし、最後まで全力でプッシュできたので良かったと思います。スポンサーの皆さんにも、ブリヂストンの皆さんにも、そしてチームの皆さんにも感謝しています。苦しい時期にずっと家族が僕を支えてくれていたので、やっと結果で恩返しできたと思います」

ベルトラン・バゲット選手（#12 TRS IMPUL with SDG Z）
「最初のスティントは本当に良かったです。何台かオーバーテイクすることができ、とても楽しんで走ることができました。自分たちの強みを信じて全力を尽くしました。タイヤの選択も良かったと思いますし、トラフィックの中でもマシンは本当に速かったです。平峰選手がマシンを引き継ぎ、彼も素晴らしい仕事をしてくれました。前戦のオートポリスは運悪く上位でフィニッシュできず本当に悲しかったのですが、今回は優勝をつかみ獲ることができました。それが一番重要なことですし、強いマシンと強いドライバーであることを証明できました。チームも完璧な仕事をしてくれたと思いますし、日産、ブリヂストン、TEAM IMPUL の全員が最高でした。今日のことを本当に誇りに思います。最終戦も、最後までプッシュして全力を尽くします」

11 月 8 日（日）
Round 8 MOTEGI GT 250km RACE GRAND FINAL

最終戦で#12 TRS IMPUL with SDG Z が

レース後半に追い上げ 3 位でシーズンを締めくくる

2026 年 SUPER GT シリーズは最終戦を迎え、11 月 7 日の第 3 戦に続いて、8 日に第 8 戦が栃木県のモビリティリゾートもてぎで開催されました。午前に予選、午後に決勝という変則スケジュールで 250km の決勝レースが行われ、レース後半の追い上げで#12 TRS IMPUL with SDG Z（平峰 一貴 / ベルトラン・バゲット）が 3 位、#24 リアライズコーポレーション Z（名取 鉄平 / 三宅 淳詞）が 8 位に入賞。5 番手でフィニッシュした#23 MOTUL Niterra Z（千代 勝正 / 高星 明誠）は、ピット作業エリアの違反でペナルティが科され、11 位に終わりました。

最終戦は規定により全車サクセスウェイトが 0 となり、ハンディキャップなしの戦いとなります。第 3 戦で優勝を飾った #12 Z をはじめ、Nissan Z NISMO GT500 勢は連勝を目指す勢いで最終戦に臨みました。

#23 Z が予選 7 位、#12 Z が予選 9 位に入る

予選
前日の第 3 戦同様、最終戦の予選も 15 分間のタイム計測のみで順位を決める方式で行われました。10 時 15 分、気温 15 度、路面温度 20 度のコンディションで予選がスタート。各車タイヤのウォームアップを入念に行い、#23 Z と #24 Z は 5 周目にアタックを開始。#23 Z は 1 分 36 秒 851 の好タイムをマークしました。1 分 37 秒 026 のベストタイムを出した#24 Z でしたが、最終コーナーでコースオフしてタイムが取り消され、ウォームアップ時のタイムがベストラップとなってしまいました。6 周目にアタックを開始した#12 Z のバゲットは、90 度コーナーでタイヤロックによりタイムロスを喫し、1 分 37 秒 212 に終わりました。最終的に Nissan Z NISMO GT500 勢は#23 Z が 7 位、#12 Z が 9 位、#24 Z が 13 位で予選を終了しています。

レース後半に力走を見せた#12 Z が 3 位

決勝
午後 2 時、天候は晴れ、気温 16 度、路面温度 21 度のコンディションでフォーメーションラップが開始されました。2 周のフォーメーションラップの後、53 周のレースがスタート。7 番手スタートの#23 Z 高星、9 番手スタートの#12 Z バゲットはポジションをキープし、#24 Z の三宅は先行車のコースアウトにより 12 番手にポジションを上げて 1 周目を終えました。1 周目に GT300 クラスでアクシデントが発生し、セーフティカーが導入されます。5 周目からレースが再開されると、エンジン交換によりピットストップのペナルティを科された 2 台がピットインし、#24 Z はポジションを上げ、10 周を終えた時点で#23 Z は 7 番手、#12 Z は 9 番手、#24 Z は 11 番手を走行しています。

13 周目に前車をパスした#12 Z が 8 番手となり、15 周目にペースの落ちた上位車を抜いて#23 Z は 6 番手、#12 Z は 7 番手となっています。ひとりのドライバーのミニマム周回数となる 18 周を終えると、GT500 クラスのピットインが始まり、19 周目に#24 Z がピットイン。20 周を終えた時点で#23 Z と#12 Z がピットインを行います。2 台同時のピットインにより混乱が生じ、#12 Z の平峰はロスを負いポジションを失うことになりました。

34 周を終え、GT500 クラスの全車が規定のピットインを終えた時点で、#23 Z の千代は 6 番手、#12 Z は 9 番手、#24 Z の名取は 11 番手となり、レースはチェッカーフラッグを目指す後半戦となりました。ペースを上げる Nissan Z NISMO GT500 勢は、38 周目に#23 Z がオーバーテイクを決めて 5 番手に浮上。42 周目には#12 Z が 8 番手にポジションを上げます。いったん後続に先行を許した#23 Z ですが、43 周目に前車がスピンし、#23 Z は 5 番手を取り戻し、#12 Z は 7 番手に上昇。#12 Z は 44 周目にもオーバーテイクし 6 番手となります。

46 周目、ペースに勝る#12 Z が#23 Z をパスし、#12 Z は表彰台を狙って 3 番手の背後に迫りました。最終盤には 1 秒以内の差で 3 番手に迫り、アタックを繰り返した#12 Z ですが、ポジションを奪うことは叶わず 4 番手でチェッカーを迎えました。後続に迫られた#23 Z は 5 番手を死守し、#24 Z は入賞圏内となる 10 番手でフィニッシュしました。

レース後、3 番手でフィニッシュしたマシンがペナルティで失格となり、また、#23 Z はピット作業エリアの違反で 40 秒加算のペナルティが科されました。これらにより#12 Z は 3 位、#24 Z は 8 位、#23 Z は 11 位となっています。

2026 年シーズンは全 8 戦を終え、#12 TRS IMPUL with SDG Z がシリーズランキング 4 位で、Nissan Z NISMO GT500 勢の最上位となりました。

平峰 一貴 選手（#12 TRS IMPUL with SDG Z）
「今日の最終戦は、ピットなどで色々なことが起きてしまったこともあり、表彰台まであと一歩というところまでしか追

い上げることができませんでした(注:レース後に繰り上がって 3 位入賞)。チームは優勝から遠ざかっていて、なかなか勝てるタイミングもなく、苦しいシーズンを何年か過ごしていましたが、その分、昨日の第 3 戦で日産勢として勝利を挙げることができたのは大きいと思います」

ベルトラン・バゲット 選手(#12 TRS IMPUL with SDG Z)
「予選がうまくいかず厳しいスタートになりました。ターン 10 でロックアップしてフラットスポットを作ってしまったんです。そのため 9 番手というかなり後方から巻き返さなければなりませんでした。僕の最初のスティントは悪くはなかったのですが、もてぎはオーバーテイクが簡単ではないので、燃料を節約しながら、平峰選手のためにできる限り良いポジションをキープできるよう最善を尽くしました。色々なトラブルがなければおそらく 2 位も狙えたと思うので少し悔しいですが、最終的には僕たちに再び速さがあることを示せたと思います」

【GT300】
GT300 クラスには 4 台の Nissan GT-R NISMO GT3 と、2 台の GTA GT300 規則のフェアレディ Z が参戦しました。第 3 戦では#56 リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R(ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ / 木村 偉織)が 14 位に入りポイントランキング首位を維持、続く第 8 戦で 4 位に入り、2020 年、2022 年に続く GT300 クラスチャンピオンを獲得しました。第 8 戦では#11 GAINER TANAX Z(富田 竜一郎 / 大木 一輝)が GTA GT300 規則のフェアレディ Z として初の 3 位表彰台を獲得しました。

【第3戦 GT500決勝 結果】 53Laps ※結果は暫定

Pos	No	Machine	Driver	Time / Behind
1	**12**	**TRS IMPUL with SDG Z**	**平峰 一貴 / ベルトラン・バゲット**	**1:38'20.070**
2	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	大草 りき / イゴール・オオムラ・フラガ	24.076
3	8	ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	太田 格之進 / 大津 弘樹	29.255
7	**23**	**MOTUL Niterra Z**	**千代 勝正 / 高星 明誠**	**39.298**
9	**24**	**リアライズコーポレーション Z**	**名取 鉄平 / 三宅 淳詞**	**46.821**

【第3戦 GT300決勝 結果】 50Laps

Pos	No	Machine	Driver	Time / Behind
1	96	K-tunes RC F GT3	新田 守男 / 高木 真一	1:39'07.421
2	666	seven x seven PORSCHE GT3R EVO	スヴェン・ミューラー / 渡会 太一	12.393
3	88	VENTENY Lamborghini GT3	小暮 卓史 / ダニール・クビアト	12.824
6	**11**	**GAINER TANAX Z**	**富田 竜一郎 / 大木 一輝**	**31.532**
14	**56**	**リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R**	**ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ / 木村 偉織**	**1'09.533**
16	**62**	**HELM MOTORSPORTS GT-R**	**平木 湧也 / 平木 玲次**	**1Lap**
17	**360**	**RUNUP × SOL GT-R**	**荒川 麟 / 金丸 ユウ**	**1Lap**
20	**48**	**健康ケーズフロンティア WM ニルズ GT-R**	**井田 太陽 / ジェームス・プル**	**1Lap**
	26	**ANEST IWATA GAINER Z**	**安田 裕信 / 三井 優介**	

【第8戦 GT500決勝 結果】 53Laps

Pos	No	Machine	Driver	Time / Behind
1	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	山本 尚貴 / 牧野 任祐	1:34'32.115
2	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	塚越 広大 / 野村 勇斗	1.705
3	**12**	**TRS IMPUL with SDG Z**	**平峰 一貴 / ベルトラン・バゲット**	**17.759**
8	**24**	**リアライズコーポレーション Z**	**名取 鉄平 / 三宅 淳詞**	**33.711**
11	**23**	**MOTUL Niterra Z**	**千代 勝正 / 高星 明誠**	**1'01.836**

【第8戦 GT300決勝 結果】 50Laps

Pos	No	Machine	Driver	Time / Behind
1	88	VENTENY Lamborghini GT3	小暮 卓史 / ダニール・クビアト	1:35'34.658
2	666	seven x seven PORSCHE GT3R EVO	スヴェン・ミューラー / 渡会 太一	2.628
3	**11**	**GAINER TANAX Z**	**富田 竜一郎 / 大木 一輝**	**20.902**
4	**56**	**リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R**	**ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ / 木村 偉織**	**22.394**
12	**26**	**ANEST IWATA GAINER Z**	**安田 裕信 / 三井 優介**	**1Lap**
18	**360**	**RUNUP × SOL GT-R**	**荒川 麟 / 金丸 ユウ**	**1Lap**
20	**62**	**HELM MOTORSPORTS GT-R**	**平木 湧也 / 平木 玲次**	**1Lap**
23	**48**	**健康ケーズフロンティア WM ニルズ GT-R**	**藤原 大暉 / ジェームス・プル**	**1Lap**

以上